

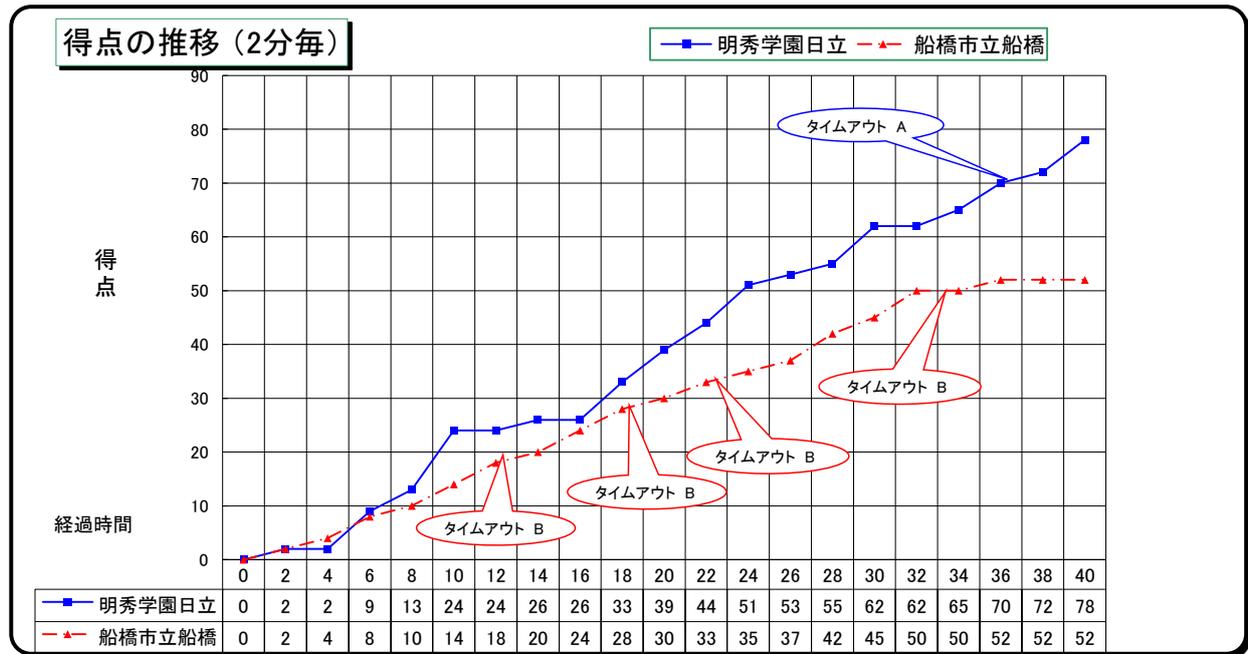
平成23年度 第22回 関東高等学校バスケットボール新人大会 【女子】 <1回戦>

平成24年 2月11日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Dコート	第1試合 9:00~	
<チームA> 明秀学園日立 茨城		78 { 24 1Q 14 } { 15 2Q 16 } { 23 3Q 15 } { 16 4Q 7 }		<チームB> 船橋市立船橋 千葉	
主審: 吉田 憲生(指)		副審: 穂川 苑子(群)			

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	稲葉 夏海	16		7	2	1
◎	5	大貫 詩織	14		6	2	
◎	6	中尾 友美	20	1	7	3	3
◎	7	柳沢 夏希	18	4	2	2	1
◎	8	田崎 由真					3
○	9	中川 佳苗					
○	10	小田部なな	2		1		
○	11	余多分茜音	2		1		
○	12	中野 由唯	6		2	2	1
○	13	友部 広海					
○	14	大山 千晴					
	15	小野紗也加					
○	16	堀井美沙子					
	17	福田 恵梨					
	18	岡野 早紀					
コーチ 筑波 大							
合計			78	5	26	11	9

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	倉脇 梢	12	2	3		4
◎	5	小亦 晶来	6		3		1
	6	高橋 恵梨					
◎	7	岡田 彩	10		5		3
◎	8	高旨 里奈	3		1	1	2
◎	9	小島 弥弓	8		3	2	2
○	10	中村奈津子					
	11	水島 晴香					
	12	小林絵梨子					
	13	森 海生香					
	14	佐久間優芽					
○	15	山田 菜摘					
○	16	小野 葉	13	2	3	1	4
	17	齊藤ちはる					
○	18	竹田 香歩					
コーチ 高松 淳史							
合計			52	4	18	4	16

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評 記入者: 佐藤 純

第1P、明秀学園日立(以下明秀)、船橋市立船橋(以下船橋)共にハーフコートマンツーマンでゲームスタート。明秀⑤大貫のジャンプシュートで先制する。対する船橋は小柄ながら足を動かし、センターにはダブルチームを仕掛け、ディフェンスからチャンスを作る。さらにメンバーチェンジで⑩小野を投入し、ディフェンスを2-3ゾーンに変更。しかし、その直後、明秀④稲葉-⑥中尾のハイロープレイが決まる。船橋は積極的にリバウンドに飛び込みセカンドチャンスをものにする。しかし明秀は⑦柳沢が3本目の3p(シュート)を決め24-14と10点差をつけた。

第2P、船橋はディフェンスをマンツーマンに戻すと、リズムがよくなり⑦岡田の速攻や⑨小島の速攻が決まり点差を詰める。さらに、⑨小島が明秀の司令塔⑤大貫にフェイスガードを仕掛け、リズムを狂わす。また、船橋は隙あらばどこからでもシュートを狙い、明秀のファウルを誘う。明秀はゴール下で激しいプレッシャーをかけられ、船橋ディフェンスを崩しきれず、完全に船橋ペースかと思われたが、明秀センター⑥中尾がディフェンスで覚醒。次々と船橋のシュートをブロックし、楽に点数を取らせない。攻めではゴール下シュートをねじ込み、さらに⑤大貫がリズムを取り戻しスティールからレイアップシュートを決め9点差まで戻し、39-30で前半が終了した。

第3P、明秀は変わらずハーフコートマンツーマン。船橋は前からオールコートマンツーマン。明秀は④の速攻を皮切りに一気に船橋ゴールに襲い掛かる。残り7分、船橋はたまたまタイムアウト。しかし、その後も流れは明秀。⑥中尾を中心に点差を広げ17点差で最終ピリオドへ。

第4P、船橋は何となく点差を詰めようとするものの、疲れが見えファウルを犯してしまう。その後も明秀が余裕を見せ、78-52の26点で地元明秀がを倒し、2回戦進出を決めた。